

世界の 都市総合力 ランキング

Global Power City Index 2016

概要版



2016年10月

はじめに

「世界の都市総合力ランキング」(Global Power City Index, GPCI)は、地球規模で展開される都市間競争下において、より魅力的でクリエイティブな人々や企業を世界中から惹きつける、いわば都市の“磁力”こそが「都市の総合力」であるとの観点に立ち、世界の主要都市の総合力を評価し、順位付けしたものである。

森記念財団都市戦略研究所は、2008年に初めてGPCIを発表して以来、毎年、新たな調査をもとに、そのランキングを更新してきた。現在では、代表的な都市指標の一つとして高い評価を得ており、東京都や国のみならず世界のさまざまな場所で都市政策やビジネス戦略の参考資料として用いられている。さらに、当研究所では国際会議や講演などを通じて、世界の主要な研究機関とも、都市の競争力

をテーマに活発な意見交換を行っている。

GPCIは情報の更新やデータ収集法の見直しを通じて常に改良に努めている。GPCI-2016では、各都市の居住者へのアンケート調査を実施し、定性データを更新するとともに、定量データに関しても、いくつかの指標データについてより信頼性・客観性の高いデータの収集に務めた。また、アフリカ地域ならびに東南アジア地域の中心都市であり、近年発展が著しいヨハネスブルグ、ジャカルタを追加し、42都市を対象とした。

過去9年間におよぶ研究結果は、世界の諸都市が持つ魅力や課題を理解するための貴重なデータとなるであろう。そしてこの調査結果が、さらに多くの人々によって都市政策や企業戦略の立案に役立てられることを期待したい。

※ なお、本ランキングの詳細な調査結果は『世界の都市総合力ランキング YEARBOOK 2016』として2017年1月に発刊を予定しており、調査方法、各都市ごとのスコア・順位の分析、指標の定義、データソース一覧などを詳細に掲載しているため、ぜひご参照いただきたい。

世界の都市総合力ランキング(GPCI)の特徴

1. 特定分野(「金融」や「住みやすさ」など)に偏らず、都市の力を表すさまざまな分野を対象として都市の総合力を評価したランキングである。
2. 世界を代表する主要42都市を選定し、都市の力を表す主要な6分野(**経済、研究・開発、文化・交流、居住、環境、交通・アクセス**)と、さらに現代の都市活動を牽引する5つのグローバル・アクター(**経営者、研究者、アーティスト、観光客、生活者**)の視点に基づき、複眼的に都市の総合力を評価している。
3. 各都市の強みや弱みを明らかにしながら、克服すべき課題を明らかにしている。
4. 都市研究に関する世界的権威であった故・ピーターホール卿をはじめとする学識者によって立案され、各界の有識者の参画と、国際的な専門家によるピアレビュー(第三者評価)を得たランキングである。

このレポートでは、6分野と5アクターは**太字**、指標グループ名およびアクター要素名は「」、指標名は斜体で示している。

1. GPCI-2016で明らかになった主なポイント

Key Findings

- ◆ロンドンは、GDPやGDP成長率のスコアが下がったことにより、**経済**のスコアが低下し、総合スコアもわずかに減少した。一方で、依然として**文化・交流**において圧倒的な強みを有しており、今年も分野別総合ランキングで1位を維持した。また、ニューヨークは、全体的に大きなスコア変動は見られず、今年も2位となった。
- ◆東京がGPCI調査開始以降、初めて3位となった。海外からの訪問者数の増加などの影響で、**文化・交流**のスコアを伸ばしたことや、アベノミクス効果などによる為替変動(円安)の影響もあって、米ドルベースでの物価水準や賃貸住宅平均賃料が下がり、**居住**のスコアを伸ばしたことが主な要因である。また、**交通・アクセス**においてもスコアの改善が見られた。円安は、**経済**におけるGDP(米ドルベース)などにはマイナスに働くが、東京のGDPは依然として42都市中トップであり、**経済**における強みを維持していることも、3位となった要因として挙げられる。

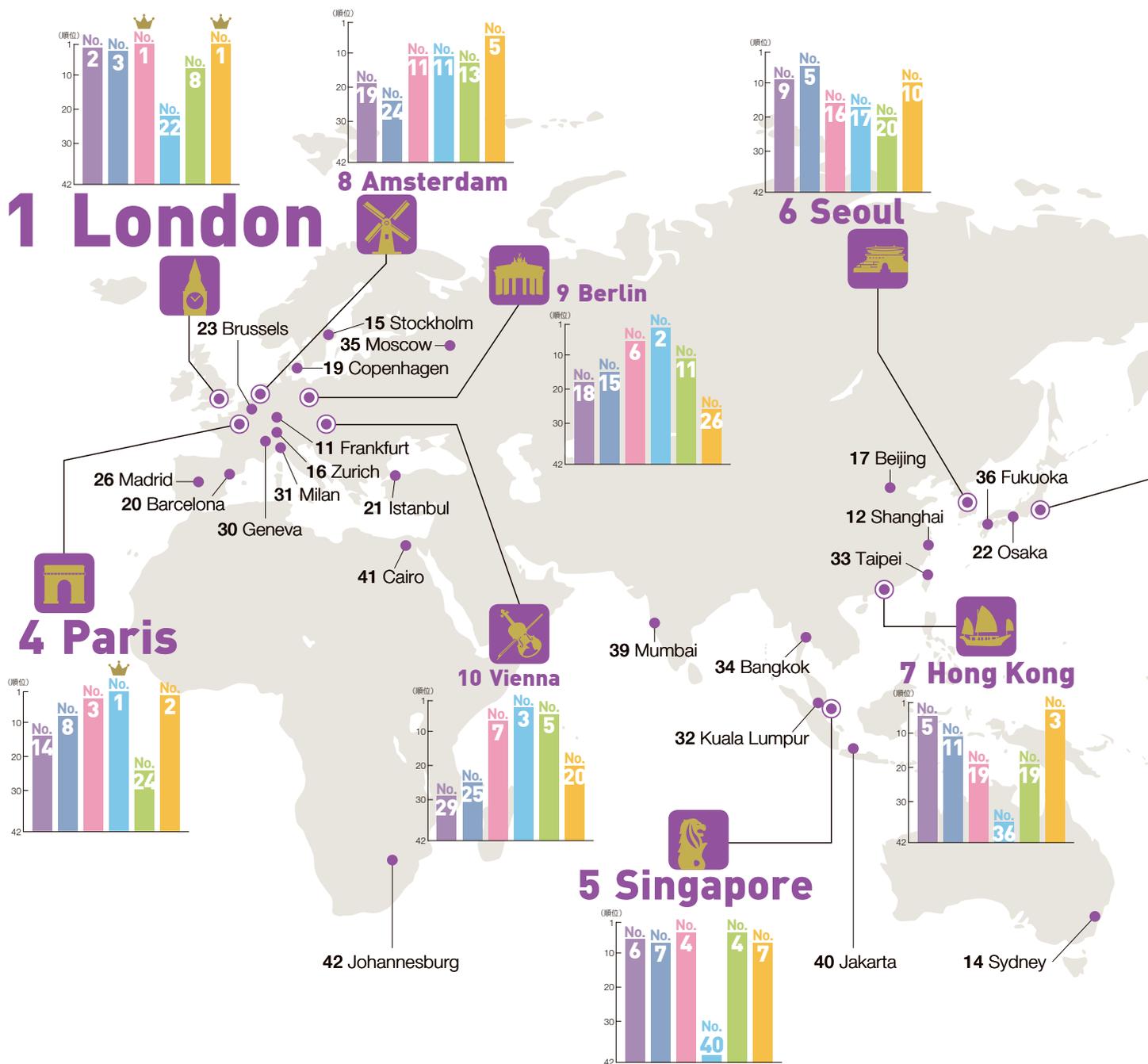
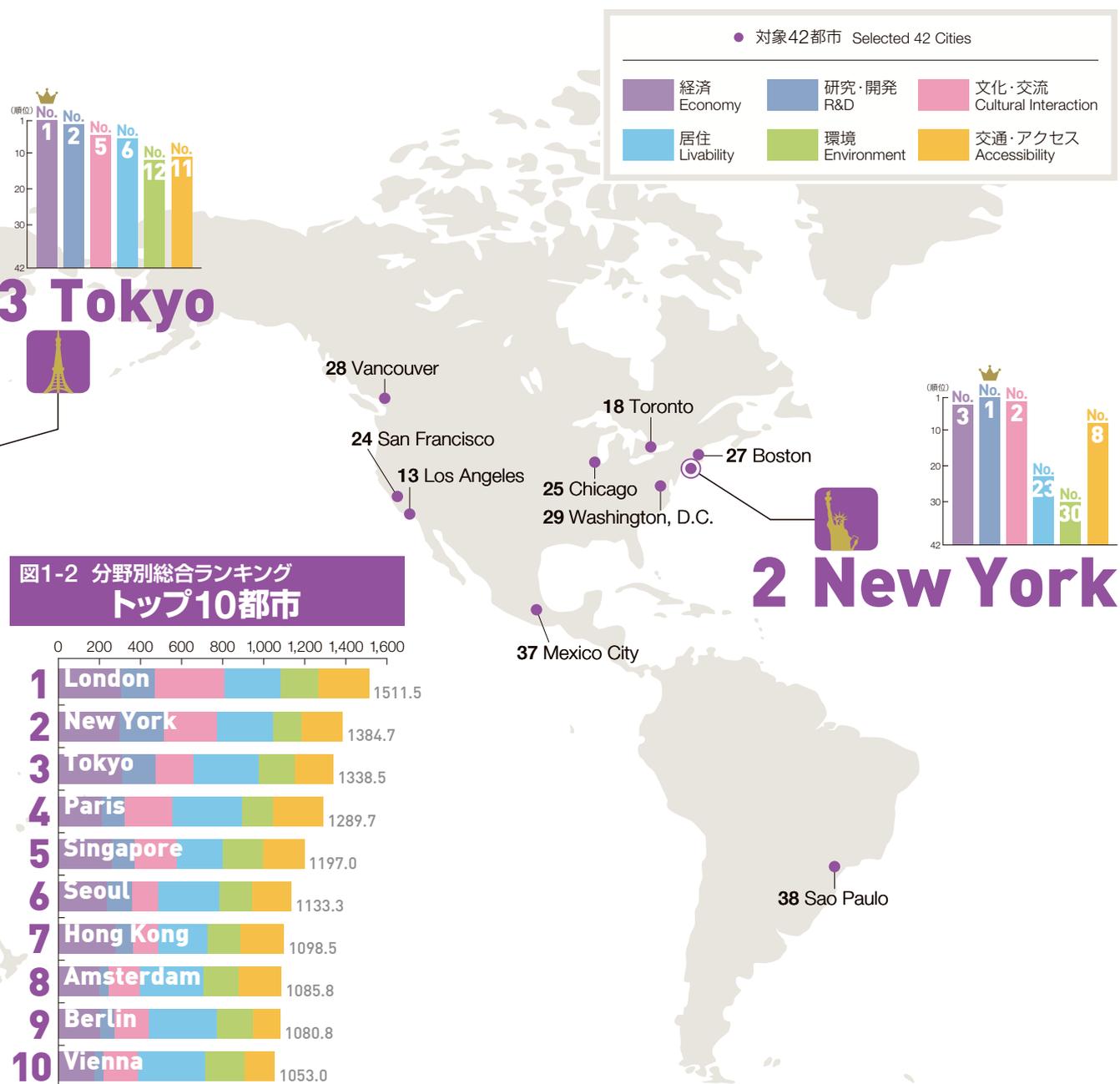


図1-1 トップ10都市における分野別順位グラフ

- ◆パリは、海外からの訪問者数や、留学生数、外国人居住者数などが減少し、**文化・交流**のスコアを落としている。昨年11月のパリ同時多発テロなど、国際的な交流の面で不安が広がっていることなども、3位から4位に順位を落とした要因である。
- ◆アジアでは、昨年スコアを伸ばしたシンガポール(5位)が、順位は維持したもののスコアを落としている。*GDP*成長率の落ち込み、従業者数の減少など、**経済**において停滞の兆しが見られる。一方、上海(12位)は、昨年の17位から大きく順位を上げた。シンガポールとは対照的に、上海は*GDP*が上昇するとともに、従業者数および事業所向けサービス業の従業者数が増加しており、**経済**における動向が2都市の明暗を分けている。
- ◆GPCI-2016より新たに対象都市に追加されたジャカルタ、ヨハネスブルグは、それぞれ40位、42位となった。両都市とも、どの分野においても40位前後に位置しており、世界の都市間競争の中では、克服すべき課題が多いといえる。



2.GPCI-2016の作成方法

2-1 策定体制

本ランキングは、世界の都市研究の分野での権威がメンバーとして監修を行うコミッティと具体的な分析作業を行うワーキング・グループによって作成されている。コミッティは森記念財団都市戦略研究所の所長・竹中平蔵(東洋大学教授/慶應義塾大学名誉教授)を委員長とし、故・ピーター・ホール卿(ユニヴァーシティ・カレッジ・ロンドン教授)を最高顧問として他に6人のメンバーで構成されている。

ワーキング・グループは、市川宏雄 森記念財団理事/明治

大学公共政策大学院ガバナンス研究科長・教授を主査としてデータ収集や分析作業を重ねランキングを作成している。作成にあたってはグローバル・アクターとしての国内外の有識者からの意見聴取も行い、評価の妥当性と公平性を保つ努力をしている。

なお、こうしたランキングの作成過程および結果の妥当性については、2名の第三者評価者(ピア・レビューアー)に評価を依頼し、内容の精査および改善点の指摘を受けている。

図2-1 策定体制



2-2 対象都市

図2-2 対象42都市



エリア	都市
ヨーロッパ	マドリッド、バルセロナ、ロンドン、パリ、ブリュッセル、アムステルダム、ジュネーブ、フランクフルト、ベルリン、チューリッヒ、ミラノ、コペンハーゲン、ウィーン、ストックホルム、イスタンブール、モスクワ
アフリカ	カイロ、ヨハネスブルグ
アジア	ムンバイ、バンコク、クアラルンプール、シンガポール、ジャカルタ、香港、北京、上海、台北、ソウル、福岡、大阪、東京
オセアニア	シドニー
北米	バンクーバー、サンフランシスコ、ロサンゼルス、シカゴ、トロント、ワシントンD.C.、ニューヨーク、ボストン
中南米	メキシコシティ、サンパウロ

(都市の選定基準)

- 既存の有力な都市比較ランキング(The Global Financial Centres Index、Global Cities Index、Cities of Opportunity)で上位10位に入っている都市
- 有力な国際競争力ランキング(World Economic Forumおよび International Institute for Management Development作成)において競争力上位10位に入っている国の主要都市
- 本ランキングを作成するコミッティまたはワーキング・グループから、対象都市として取り上げることが適切として判断された都市

※ただし、上記の基準を満たすものの、データの入手が困難であることから、GPCIの対象都市に含まれていない都市もある。

3.分野別ランキング

3-1 ランキングの作成方法

図3-1 分野別ランキングの作成フロー



分野別総合ランキング

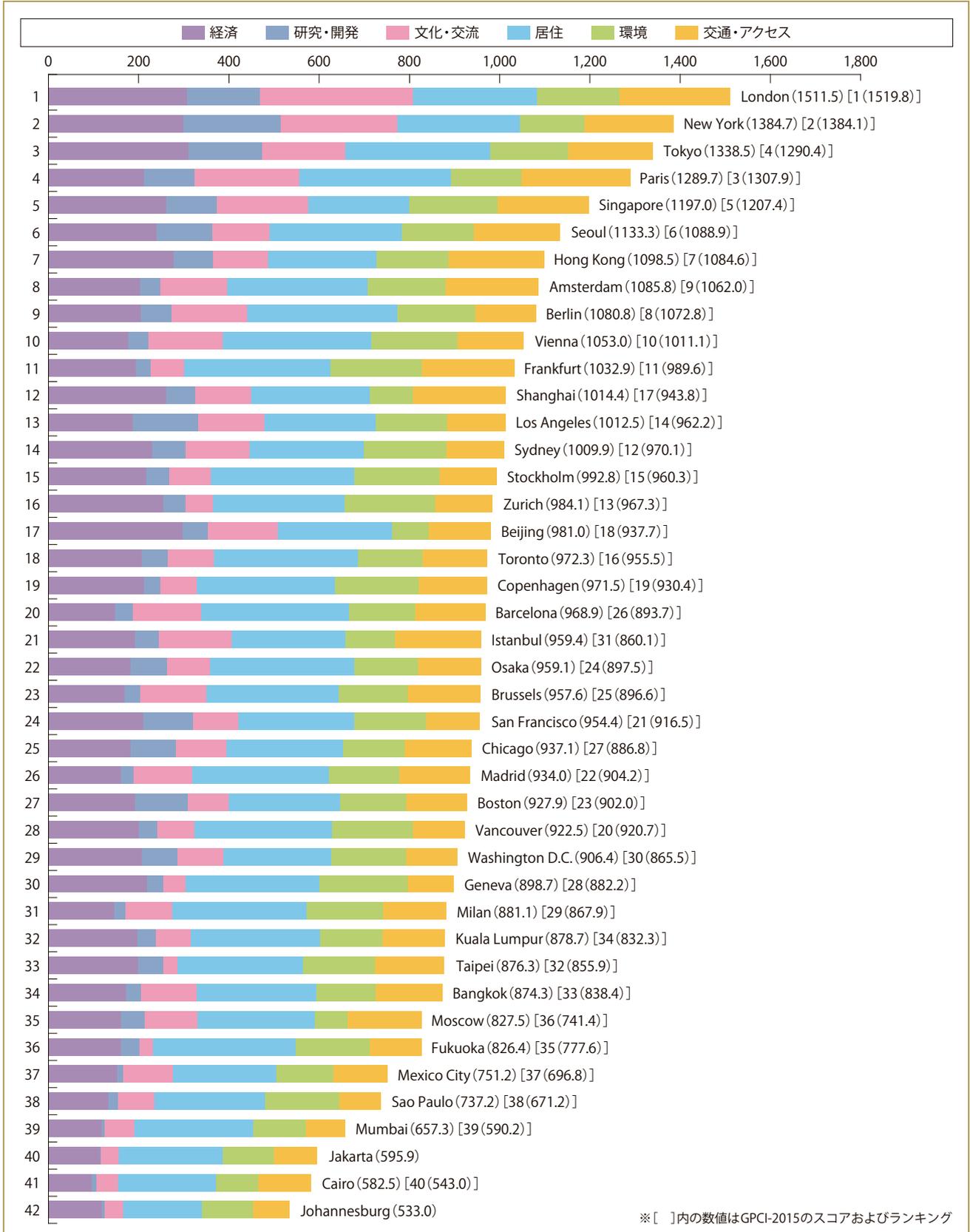
世界の都市総合カランキング(GPCI)では、6分野(経済、研究・開発、文化・交流、居住、環境、交通・アクセス)それぞれにおいて、主要な要素を表す「指標グループ」を設定し、さらに

それらを構成する指標を70選定した。各指標をスコア化した上で、指標グループのスコアを合算し、分野別ランキングを作成した。分野別総合ランキングは、それらを合計して作成した。



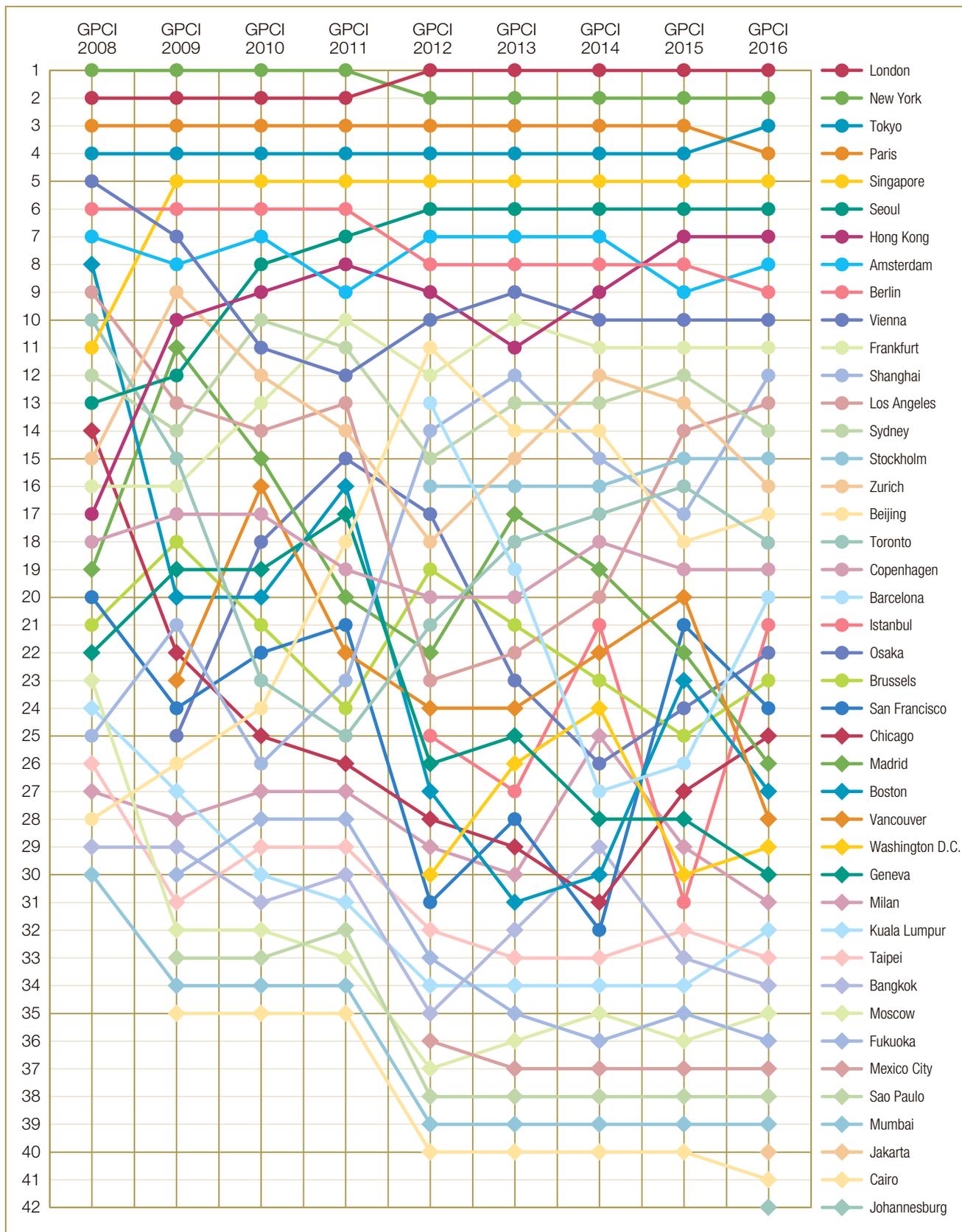
3-2 分野別総合ランキング

図3-2 分野別総合ランキング結果



3-3 分野別総合ランキングの変動

図3-3 分野別総合ランキングの変動(GPCI-2008~2016)



3-4

分野別ランキング

表3-1 分野別ランキング

ランク	 経済	 研究・開発	 文化・交流	 居住	 環境	 交通・アクセス
1	Tokyo 311.0	New York 215.8	London 338.9	Paris 336.6	Frankfurt 201.9	London 245.0
2	London 307.5	Tokyo 162.9	New York 259.4	Berlin 331.9	Zurich 199.3	Paris 241.1
3	New York 298.7	London 162.4	Paris 233.4	Vienna 330.3	Geneva 196.6	Hong Kong 211.0
4	Beijing 297.5	Los Angeles 145.7	Singapore 202.0	Barcelona 327.7	Singapore 195.1	Shanghai 205.7
5	Hong Kong 278.1	Seoul 122.7	Tokyo 184.7	Frankfurt 325.6	Vienna 191.8	Amsterdam 205.6
6	Singapore 261.3	Boston 118.4	Berlin 168.4	Tokyo 320.6	Stockholm 189.7	Frankfurt 204.9
7	Shanghai 261.1	Singapore 112.7	Vienna 164.3	Toronto 319.2	Copenhagen 186.6	Singapore 201.2
8	Zurich 254.6	Paris 111.9	Istanbul 161.8	Osaka 318.0	London 183.3	New York 196.7
9	Seoul 239.8	San Francisco 111.0	Beijing 154.9	Fukuoka 317.2	Sydney 182.9	Istanbul 190.4
10	Sydney 230.4	Chicago 99.6	Barcelona 149.9	Stockholm 316.9	Vancouver 178.8	Seoul 190.0
11	Geneva 218.4	Hong Kong 87.6	Amsterdam 147.4	Amsterdam 312.4	Berlin 172.9	Tokyo 186.6
12	Stockholm 217.2	Osaka 79.5	Brussels 145.6	Copenhagen 307.0	Tokyo 172.5	Moscow 163.5
13	Copenhagen 211.7	Washington D.C. 78.5	Los Angeles 145.6	Vancouver 304.9	Amsterdam 171.7	Brussels 160.2
14	Paris 211.5	Sydney 75.0	Sydney 140.0	Madrid 302.7	Milan 168.6	Barcelona 155.4
15	San Francisco 209.9	Berlin 67.5	Madrid 129.1	Milan 298.3	Washington D.C. 166.7	Madrid 154.7
16	Washington D.C. 207.7	Shanghai 64.2	Seoul 127.0	Geneva 297.0	Sao Paulo 165.8	Taipei 152.6
17	Toronto 207.6	Taipei 57.4	Shanghai 124.7	Seoul 294.8	Fukuoka 164.1	Copenhagen 149.7
18	Berlin 205.6	Toronto 57.3	Bangkok 122.6	Brussels 293.8	Taipei 159.6	Chicago 148.1
19	Amsterdam 203.0	Beijing 56.9	Hong Kong 121.7	Zurich 292.7	Hong Kong 159.3	Bangkok 147.6
20	Vancouver 200.4	Moscow 54.0	Moscow 115.0	Kuala Lumpur 285.9	Seoul 159.1	Vienna 144.8
21	Taipei 198.3	Istanbul 53.1	Chicago 113.3	Taipei 277.9	San Francisco 159.0	Toronto 142.7
22	Kuala Lumpur 197.8	Stockholm 50.9	Mexico City 111.5	London 274.4	Los Angeles 158.0	Milan 139.6
23	Frankfurt 194.5	Zurich 49.9	Milan 104.3	New York 271.7	Madrid 157.7	Osaka 138.9
24	Istanbul 191.8	Amsterdam 45.8	Toronto 102.0	Bangkok 265.6	Paris 155.2	Beijing 137.7
25	Boston 191.6	Vienna 45.1	Washington D.C. 101.4	Shanghai 262.3	Brussels 153.4	Kuala Lumpur 137.3
26	Los Angeles 186.7	Barcelona 41.5	San Francisco 99.6	Mumbai 262.2	Barcelona 147.4	Berlin 134.5
27	Chicago 182.9	Fukuoka 40.5	Osaka 97.2	Moscow 260.5	Boston 146.3	Boston 134.4
28	Osaka 182.5	Vancouver 40.4	Stockholm 93.0	San Francisco 257.8	Toronto 143.5	Los Angeles 128.8
29	Vienna 176.7	Kuala Lumpur 40.2	Boston 89.2	Chicago 257.5	Osaka 142.9	Sydney 127.6
30	Bangkok 172.1	Copenhagen 37.1	Vancouver 83.5	Sydney 253.9	New York 142.5	Zurich 127.2
31	Brussels 169.4	Geneva 37.0	Sao Paulo 82.1	Beijing 252.0	Kuala Lumpur 139.5	Stockholm 125.1
32	Fukuoka 161.3	Brussels 35.0	Copenhagen 79.6	Istanbul 252.0	Chicago 135.7	Mexico City 119.2
33	Madrid 160.9	Bangkok 33.6	Kuala Lumpur 78.1	Boston 247.9	Bangkok 132.7	San Francisco 117.1
34	Moscow 160.8	Frankfurt 31.9	Frankfurt 74.2	Los Angeles 247.9	Mexico City 127.3	Cairo 116.5
35	Mexico City 153.6	Madrid 28.8	Mumbai 65.2	Sao Paulo 244.2	Mumbai 118.4	Vancouver 114.5
36	Barcelona 147.1	Milan 23.6	Zurich 60.3	Hong Kong 240.8	Jakarta 114.8	Fukuoka 113.8
37	Milan 146.7	Sao Paulo 20.5	Cairo 48.9	Washington D.C. 239.9	Johannesburg 112.6	Washington D.C. 112.1
38	Sao Paulo 133.1	Mexico City 12.0	Geneva 48.2	Jakarta 230.6	Istanbul 110.3	Geneva 101.4
39	Johannesburg 119.2	Cairo 8.9	Johannesburg 41.3	Mexico City 227.6	Shanghai 96.5	Jakarta 94.9
40	Mumbai 117.8	Mumbai 7.8	Jakarta 38.7	Singapore 224.6	Cairo 94.8	Sao Paulo 91.6
41	Jakarta 114.1	Johannesburg 4.7	Taipei 30.5	Cairo 215.8	Beijing 82.0	Mumbai 85.9
42	Cairo 97.6	Jakarta 2.8	Fukuoka 29.5	Johannesburg 175.6	Moscow 73.5	Johannesburg 79.7

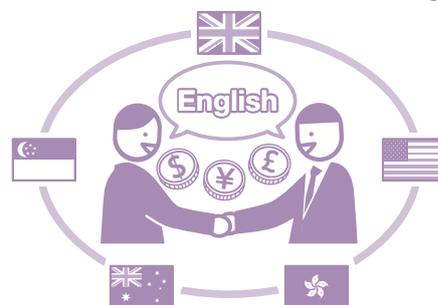
3-5 分野別ランキング Key Findings



経済

◆ **経済**の上位5都市は昨年同様、東京、ロンドン、ニューヨーク、北京、香港の順となった。その中でも香港(5位)が世界トップ300企業の増加などによりスコアを伸ばした。また上海が証券取引所の株式時価総額や世界トップ300企業でスコアを伸ばし、順位を9位から7位に上げた。

- ◆ 上位10都市のうち5都市(ロンドン、ニューヨーク、香港、シンガポール、シドニー)が英語を公用語とする都市であり、これらの都市は経済自由度、優秀な人材確保の容易性のスコアが高い。また、チューリッヒ(8位)は、GDP、従業者数などの経済規模に関する指標のスコアは低いにも関わらず、一人当たりGDP、賃金水準、一デスク当たりオフィス面積など生産効率に関するスコアが高くトップ10入りした。
- ◆ 新たに対象都市となったヨハネスブルグ、ジャカルタはそれぞれ39位、41位であった。全体的に低評価であるが、中でも経済自由度や賃金水準、優秀な人材確保の容易性に課題が見られる。



研究・開発

◆ **研究・開発**の上位5都市は、ニューヨーク、東京、ロンドン、ロサンゼルス、ソウルの順となった。ニューヨーク(1位)は、世界トップ200大学や研究開発費の指標で高い評価を得ており、2位以下の都市を大きく引き離している。

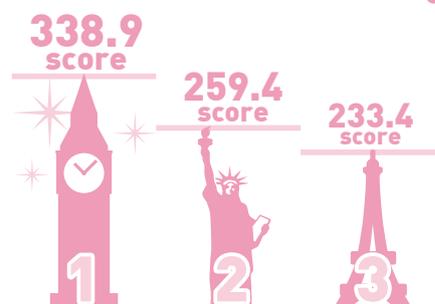
- ◆ 上位10都市のうち5都市がアメリカの都市(ニューヨーク、ロサンゼルス、ボストン、サンフランシスコ、シカゴ)であり、どの都市も主要科学技術賞受賞者数や研究開発費、世界トップ200大学のスコアが高い。
- ◆ パリは世界トップ200大学、研究者の交流機会などでスコアを大きく落とし、昨年の5位から8位に順位を落としている。
- ◆ 産業財産権(特許)登録数では東京、ソウルのスコアが高く、他の都市に大きく差をつけている。



文化・交流

◆ 昨年同様、上位5都市はロンドン、ニューヨーク、パリ、シンガポール、東京の順となったが、中でもシンガポールと東京が大きくスコアを伸ばした。その下に、ベルリン、ウィーン、イスタンブールなど色濃い歴史・文化を持つ都市が続いている。

- ◆ ロンドン(1位)はほとんどの指標において高スコアを得ており、2位以下の都市を大きく引き離している。特に主要な世界的文化イベント開催件数やコンテンツ輸出額、スタジアム数、海外からの訪問者数のスコアが高い。
- ◆ シンガポールは、「交流・文化発信力」や「外国人受入実績」では高いスコアを得ている一方で、文化・歴史・伝統への接触機会など「文化資源」の評価が低い。
- ◆ 東京は、文化・交流のほとんどの指標で昨年よりもスコアを伸ばしている。とりわけ、国際コンベンション開催件数や海外からの訪問者数、買物の魅力、食事の魅力でスコアを大きく伸ばしている。





居住

◆ 上位5都市すべてがヨーロッパの都市(パリ、ベルリン、ウィーン、バルセロナ、フランクフルト)となった。パリ(1位)は全体的に高評価で、中でも人口当たりの医師数が突出して高い評価を得ている。その他のヨーロッパの都市も、ロンドン(22位)、モスクワ(27位)を除きすべて20位以内にランクインしている。



- ◆ 東京は総労働時間、賃貸住宅平均賃料、物価水準でスコアを大きく伸ばし、昨年の15位から6位まで順位を上げた。また、大阪、福岡といった日本の都市も順位を大きく伸ばし上位10都市以内に入った。為替変動(円安)により、賃貸住宅平均賃料や物価水準が下がったことが大きく影響している。
- ◆ 一方、バンクーバー(13位)、ジュネーブ(16位)、チューリッヒ(19位)は順位を大きく落とし、上位10都市から外れた。
- ◆ 昨年最下位であったモスクワは、従業員の生活満足度の向上や賃貸住宅平均賃料の低下により大きくスコアを伸ばし、27位まで順位を上げた。
- ◆ 総労働時間はヨーロッパの諸都市が高いスコアを得ている。アジアの都市は昨年よりもスコアを伸ばしているものの、ヨーロッパの諸都市と比べると依然としてスコアが低い。
- ◆ 昨年の31位から順位を落としたシンガポール(40位)は「居住コスト」の高さが最大の課題である。



環境

◆ 上位10都市中、7都市がヨーロッパの都市であり、アジアの都市の中で上位10都市に入っている都市は、リサイクル率で1位となったシンガポール(4位)のみである。

◆ CO₂排出量はジュネーブ、チューリッヒ、コペンハーゲン、ストックホルムが非常に少ない一方で、北京、上海、モスクワが突出して多い。



- ◆ 台北(18位)、香港(19位)はSPM濃度、SO₂濃度・NO₂濃度においてスコアを伸ばし、順位を上げた。
- ◆ サンパウロは、総合ランキングでは38位と低位に位置しているが、環境におけるスコアは高く、気温の快適性、再生可能エネルギーの比率は42都市の中でトップである。



交通・アクセス

◆ 2008年のGPCI発表当初より、交通・アクセスでは、ロンドンとパリが首位を争ってきたが、今年はロンドンが再びパリを抜いて1位となった。ロンドンは国際貨物流通規模や人口当たり交通事故死者数のスコアを伸ばした。

- ◆ アムステルダム(5位)、フランクフルト(6位)、イスタンブール(9位)は「国際交通ネットワーク」、「国際交通インフラキャパシティ」での評価が高く、上位10都市にランクインしている。
- ◆ 東京(11位)は「都市内交通サービス」、「交通利便性」では高評価であるものの、「国際交通ネットワーク」、「国際交通インフラキャパシティ」の評価は、依然として高くない。



4.アクター別ランキング

4-1 アクター別ランキングの作成方法

アクター別ランキングは、経営者、研究者、アーティスト、観光客、そして生活者の5つのアクターの視点から評価を行ったものである。評価にあたっては、まずは各アクター

が都市に求める重要な要素を設定し、その上で、各要素に対応する指標を分野別ランキングに用いた70の指標の中から抽出し、アクター毎のスコアを都市別に算出している。

図4-1 アクター別ランキングの作成フロー

重視する要素	分野						指標	スコア	
	経済	研究・開発	文化・交流	居住	環境	交通・アクセス			
経営者 	① 企業や商取引等の一定以上の集積	○	—	○	○	—	—	51 指標	経営者 スコア
	② ビジネスの成長性	○	—	—	—	—	—		
	③ ビジネスの容易性	○	—	—	—	—	—		
	④ ビジネス環境	○	—	—	—	○	○		
	⑤ 人材プール(人材の豊富さ)	○	○	○	—	—	—		
	⑥ 関連サポート産業の集積	○	—	○	—	—	—		
	⑦ 家族及び従業員にとっての良好な環境	—	—	○	○	○	○		
	⑧ 政治・経済・災害リスク	○	—	—	○	—	—		
研究者 	① 質の高い研究機関・研究者・指導者の存在	—	○	—	—	—	—	36 指標	研究者 スコア
	② 研究機関や研究者の集積	—	○	—	—	—	—		
	③ 研究活動における発想や思考に対して刺激となる空間・機会の存在	—	○	○	—	—	—		
	④ 研究者受入態勢(研究費助成や生活費補助など)	—	○	○	○	—	—		
	⑤ 自らの研究分野における就業機会	○	—	—	○	—	—		
	⑥ 日常生活の環境(住みやすさ)	—	—	○	○	○	○		
アーティスト 	① 文化的刺激	—	—	○	—	—	—	26 指標	アーティスト スコア
	② アーティストの集積	—	—	○	—	—	—		
	③ マーケットの存在	○	—	○	—	—	—		
	④ 創作環境(スタジオ、アトリエ賃料、広さなど)	—	—	—	○	—	—		
	⑤ 日常生活の環境(住みやすさ)	—	—	○	○	○	○		
観光客 	① 文化的魅力や接触機会	—	—	○	—	—	—	26 指標	観光客 スコア
	② 安全	—	—	—	○	—	○		
	③ 観光の対象の存在(施設、文化等)	—	—	○	—	—	—		
	④ 一定水準以上の宿泊施設	—	—	○	—	—	—		
	⑤ 食事(選択肢や値段等)	—	—	○	○	—	—		
	⑥ 買物(環境や値段、魅力等)	—	—	○	○	—	—		
	⑦ 目的地までの移動の利便性(所要時間、運賃等)	—	—	—	—	—	○		
生活者 	① 購買環境(物価、商品の得やすさ等)	○	—	—	○	—	○	40 指標	生活者 スコア
	② 生活環境(住環境などの日常の生活のしやすさ等)	—	—	○	○	○	○		
	③ 就業環境(収入、雇用機会等)	○	—	—	○	—	—		
	④ 教育環境	—	○	—	—	—	—		
	⑤ 余暇活動	—	—	○	○	○	—		
	⑥ 安全	—	—	—	○	—	○		
	⑦ 医療水準	—	—	—	○	—	—		

アクター別ランキング

4-2 アクター別ランキング

表4-1 アクター別ランキング

ランク	 経営者	 研究者	 アーティスト	 観光客	 生活者					
1	London	57.8	New York	66.6	Paris	52.0	London	57.2	Paris	62.2
2	Singapore	56.3	London	54.8	New York	49.7	Paris	51.6	London	57.8
3	Hong Kong	53.9	Tokyo	52.8	Vienna	48.7	New York	50.3	New York	57.3
4	Shanghai	49.0	Los Angeles	46.3	Berlin	48.1	Istanbul	49.0	Frankfurt	55.5
5	Beijing	48.9	San Francisco	45.7	London	47.2	Tokyo	45.9	Zurich	54.7
6	Istanbul	48.5	Paris	45.4	Barcelona	46.7	Berlin	42.8	Tokyo	53.7
7	Tokyo	47.7	Chicago	39.0	Tokyo	46.4	Barcelona	42.3	Vienna	53.6
8	New York	47.3	Boston	38.8	Amsterdam	45.5	Beijing	42.1	Berlin	53.2
9	Seoul	45.6	Singapore	38.0	Los Angeles	43.3	Vienna	41.4	Stockholm	52.3
10	Kuala Lumpur	45.1	Seoul	37.0	Toronto	42.3	Shanghai	41.2	Geneva	51.6
11	Paris	45.0	Washington D.C.	34.4	Beijing	42.2	Singapore	41.0	Amsterdam	51.0
12	Taipei	43.2	Sydney	33.5	Vancouver	40.4	Bangkok	39.9	Washington D.C.	50.7
13	Berlin	42.2	Hong Kong	32.7	Madrid	40.1	Amsterdam	39.6	Copenhagen	50.7
14	Stockholm	40.7	Beijing	32.3	Stockholm	39.9	Madrid	37.3	Boston	49.1
15	Bangkok	40.2	Berlin	30.5	Osaka	38.6	Seoul	35.3	San Francisco	47.9
16	Zurich	40.1	Osaka	30.4	Washington D.C.	38.0	Hong Kong	35.0	Osaka	47.7
17	Copenhagen	40.1	Toronto	29.4	Milan	37.9	Osaka	34.6	Seoul	47.4
18	Amsterdam	39.8	Vancouver	26.4	Istanbul	37.9	Brussels	34.2	Barcelona	47.4
19	Toronto	39.6	Vienna	26.2	Frankfurt	37.7	Frankfurt	34.1	Brussels	47.0
20	Sydney	39.6	Amsterdam	25.8	Mexico City	37.4	Moscow	33.2	Toronto	46.8
21	Vienna	38.9	Stockholm	25.7	Brussels	37.3	Milan	32.7	Milan	46.7
22	Boston	38.3	Zurich	25.5	Shanghai	37.2	Chicago	31.6	Hong Kong	46.5
23	Vancouver	37.9	Moscow	25.1	Seoul	36.7	Toronto	31.5	Vancouver	46.4
24	Frankfurt	37.8	Geneva	23.6	Moscow	36.7	Copenhagen	30.2	Fukuoka	46.2
25	Geneva	37.2	Copenhagen	23.1	Fukuoka	36.4	Sydney	30.1	Los Angeles	45.4
26	Osaka	36.2	Shanghai	22.5	Chicago	36.3	Mexico City	29.6	Singapore	45.3
27	Brussels	35.4	Barcelona	22.1	Sao Paulo	36.2	Boston	29.6	Madrid	45.2
28	San Francisco	35.2	Madrid	21.5	Kuala Lumpur	36.1	San Francisco	29.5	Sydney	45.1
29	Chicago	35.1	Brussels	21.3	Mumbai	35.3	Vancouver	29.5	Taipei	43.9
30	Barcelona	34.7	Bangkok	21.2	Bangkok	34.9	Kuala Lumpur	29.5	Chicago	43.2
31	Washington D.C.	34.6	Frankfurt	21.0	Copenhagen	34.6	Los Angeles	28.9	Shanghai	43.1
32	Madrid	34.4	Istanbul	20.3	Boston	32.4	Stockholm	28.5	Beijing	42.8
33	Los Angeles	34.2	Taipei	20.3	San Francisco	31.2	Washington D.C.	28.4	Moscow	38.1
34	Fukuoka	32.5	Milan	19.7	Cairo	31.0	Taipei	27.7	Mexico City	37.2
35	Milan	32.5	Fukuoka	19.7	Jakarta	29.1	Mumbai	27.2	Sao Paulo	36.9
36	Mumbai	30.7	Mexico City	19.1	Zurich	29.0	Cairo	26.9	Istanbul	36.5
37	Moscow	30.3	Kuala Lumpur	18.6	Sydney	27.6	Zurich	26.3	Bangkok	33.2
38	Mexico City	27.7	Sao Paulo	18.1	Geneva	26.3	Fukuoka	25.8	Kuala Lumpur	32.7
39	Sao Paulo	25.6	Mumbai	15.7	Johannesburg	24.7	Sao Paulo	24.7	Mumbai	30.7
40	Cairo	23.8	Cairo	11.2	Singapore	23.1	Geneva	23.8	Cairo	29.2
41	Jakarta	23.1	Jakarta	11.0	Taipei	22.4	Jakarta	21.6	Jakarta	25.4
42	Johannesburg	22.4	Johannesburg	9.0	Hong Kong	22.2	Johannesburg	15.1	Johannesburg	21.2

4-3 アクター別ランキング Key Findings

経営者



- ◆ 上位3都市は、昨年と同様、ロンドン、シンガポール、香港となった。イスタンブールは「ビジネスの成長性」におけるスコアを伸ばした結果、15位から6位へと順位を大きく上昇させた。
- ◆ 分野別ランキングの経済分野で1位の東京は、「企業や商取引等の一定以上の集積」の評価は高いが、一方で「ビジネスの成長性」、「ビジネスの容易性」のスコアが低く、順位を1つ上げたものの7位に留まった。

研究者



- ◆ ニューヨークは「質の高い研究機関・研究者・指導者の存在」、「研究者受入態勢」で高い評価を得た結果、9年連続で首位を維持している。ロサンゼルスが昨年の5位から4位に、サンフランシスコが6位から5位にそれぞれ順位を上げた。両都市とも「研究者受入態勢」、「自らの研究分野における就業機会」においてスコアの向上が見られるほか、留学生数の増加も順位の上昇に寄与している。
- ◆ 東京は、上位2都市と比べて「質の高い研究機関・研究者・指導者の存在」における世界トップ200大学や主要科学技術賞受賞者数、「研究者受入態勢」における外国人研究者の受け入れ態勢などのスコアが低く、昨年に引き続き3位に留まっている。

アーティスト



- ◆ パリは「文化的刺激」、「日常生活の環境」において高評価を得て、今年もトップを維持した。ニューヨーク(2位)は「文化的刺激」、「アーティストの集積」、「マーケットの存在」で高評価を得るも、総合スコアではパリには届かなかった。
- ◆ ウィーン(3位)、ベルリン(4位)は文化・歴史・伝統への接触機会、美術館・博物館数で高い評価を得た。その結果、昨年5位のウィーンと昨年3位のロンドンの順位が入れ替わった。
- ◆ バルセロナは、「マーケットの存在」、「創作環境」のスコアの増加によって、昨年の10位から6位に順位を上げた。シンガポール、香港は「創作環境」における賃貸住宅平均賃料の高さが要因となり、それぞれ40位、42位という結果となった。

観光客



- ◆ 上位4都市の順位は昨年と変わらず、ロンドン(1位)、パリ(2位)、ニューヨーク(3位)、イスタンブール(4位)となった。ロンドン、パリは「文化的魅力や接触機会」、「観光の対象の存在」、「目的地までの移動の利便性」において高い評価を得ている。
- ◆ 東京は、「食事」、「買物」で高い評価を得ているほか、物価水準および海外からの訪問者数のスコアが大幅に上昇したことにより、昨年の6位から5位に上昇した。一方で、「文化的魅力や接触機会」と「一定水準以上の宿泊施設」においては改善が求められる。

生活者



- ◆ 昨年と変わらず、パリ、ロンドン、ニューヨークが上位3都市となっている。
- ◆ フランクフルト(4位)とチューリッヒ(5位)は、生活者にとって重要である環境におけるCO₂排出量や、都心部の緑被状況で高い評価を得ている。
- ◆ 東京は「購買環境」のスコアが上昇したことで、昨年の8位から6位に順位を上げた。一方でCO₂排出量、再生可能エネルギーの比率をはじめとする環境指標で伸び悩み、ヨーロッパの各都市とは開きがある。

◆ 目的

「世界の都市総合カランキング(GPCI)」では、ヒト・モノ・カネを惹きつけている都市の磁力を「都市の総合力」と位置付け、その総合力を評価し、順位づけを行っている。しかし、実際に人々が都市を訪れたり居住したりする際
 の意思決定には、都市の総合力に加えて、人々の意識の中にある「都市のイメージ(Perception)」も影響している。そのため、各都市が都市間競争のもと他の都市との差別

化を図っていくためには、戦略的なイメージブランディングが重要となる。そこで「City Perception Survey —都市のイメージ調査—」では、世界8都市を対象に人々の意識の中にある都市のイメージを分析することで、それぞれの都市の特性を明らかにし、今後の都市のイメージブランディング戦略に資することを目的とする。

※ なお、本調査の詳細な結果は「City Perception Survey —都市のイメージ調査—」(2016年10月発刊)に掲載している。

◆ 対象都市

1. 「世界の都市総合カランキング」2008年～2016年の上位4都市	ロンドン ニューヨーク 東京 パリ
2. アジアにおける上位都市	シンガポール ソウル 香港 上海

◆ 調査と概要

世界41都市*に居住する2,132人の回答者に対して、2016年3月にアンケート調査を実施し、対象8都市について連想する「都市のイメージ」を自由回答(各都市1～3単語)してもらい合計27,781の回答を得た。

ここでは、以下の4つの分析手法のうち、ワードクラウドとランキングの結果の一部を紹介する(対象: GPCI-2016上位4都市)。

<h3>01</h3> <p>Word Clouds</p> <p>ワードクラウド (単語の出現頻度の可視化)</p>	<h3>02</h3> <p>Ranking</p> <p>ランキング</p>	<h3>03</h3> <p>Visitor / Non-Visitor Analysis</p> <p>訪問経験の有無による比較分析</p>	<h3>04</h3> <p>Location-Specific Analysis</p> <p>回答者の居住地による比較分析</p>
---	---	---	---

※ GPCI-2016の対象42都市のうち、アンケート調査を実施できなかったカイロを除く41都市。





LONDON



City Perception Ranking

順位	キーワード	回答数
1	EXPENSIVE 高価な	153
2	HISTORY 歴史	141
3	BIG BEN ビッグベン	136
4	CULTURE 文化	108
5	RAIN 雨	84
6	TRADITION 伝統	71
7	BEAUTIFUL 美しい	69
8	FOG 霧	65
9	DIVERSE 多様性	61
10	QUEEN 女王	57

ロンドンには**HISTORY/歴史**、**TRADITION/伝統**といった歴史的な側面を表す単語が連想されると同時に、多文化的な都市であることを表す**COSMOPOLITAN/国際的**や**DIVERSE/多様性**も連想されている。また、**BIG BEN/ビッグベン**や**DOUBLE DECKER/二階建てバス**といった固有名詞も幅広く挙げられている。**RAIN/雨**や**FOG/霧**、**COLD/寒い**などの天候に関する単語が多く挙げられていることもロンドンならではの特徴であるが、これらの単語は訪問経験のない人の方が強く連想する傾向がある。これらのことを総合すると、ロンドンのイメージは、気候的な印象は良くないものの、豊富なランドマークと長い歴史や伝統に彩られた世界都市であるといえる。



NEW YORK



City Perception Ranking

順位	キーワード	回答数
1	BUSY	忙しい …………… 147
2	SKYSCRAPERS	超高層ビル …… 126
3	STATUE OF LIBERTY	自由の女神 …… 92
4	METROPOLIS	主要都市 …… 88
4	DIVERSE	多様性 …………… 88
5	BIG APPLE	ビッグアップル… 87
6	CROWDED	混雑した …… 76
7	BIG	大きい …………… 73
8	MODERN	現代的な …… 71
9	EXPENSIVE	高価な …………… 67
10	FASHION	ファッション …… 59

ニューヨークは、SKYSCRAPERS/超高層ビル、METROPOLIS/主要都市、DIVERSE/多様性、COSMOPOLITAN/国際的、BIG/大きいといった都市の力を象徴するような単語と、BUSY/忙しい、CROWDED/混雑した、FAST/速いといったせわしない雰囲気を表す単語が主に連想されている。また、BIG APPLE/ビッグアップル(ニューヨークの愛称)、TIMES SQUARE/タイムズ・スクエア、BROADWAY/ブロードウェイといったランドマークなども連想されており、ニューヨークのイメージは、多文化的な活力がみなぎり、せわしない都市活動が繰り上げられている世界都市であるといえる。

 TOKYO

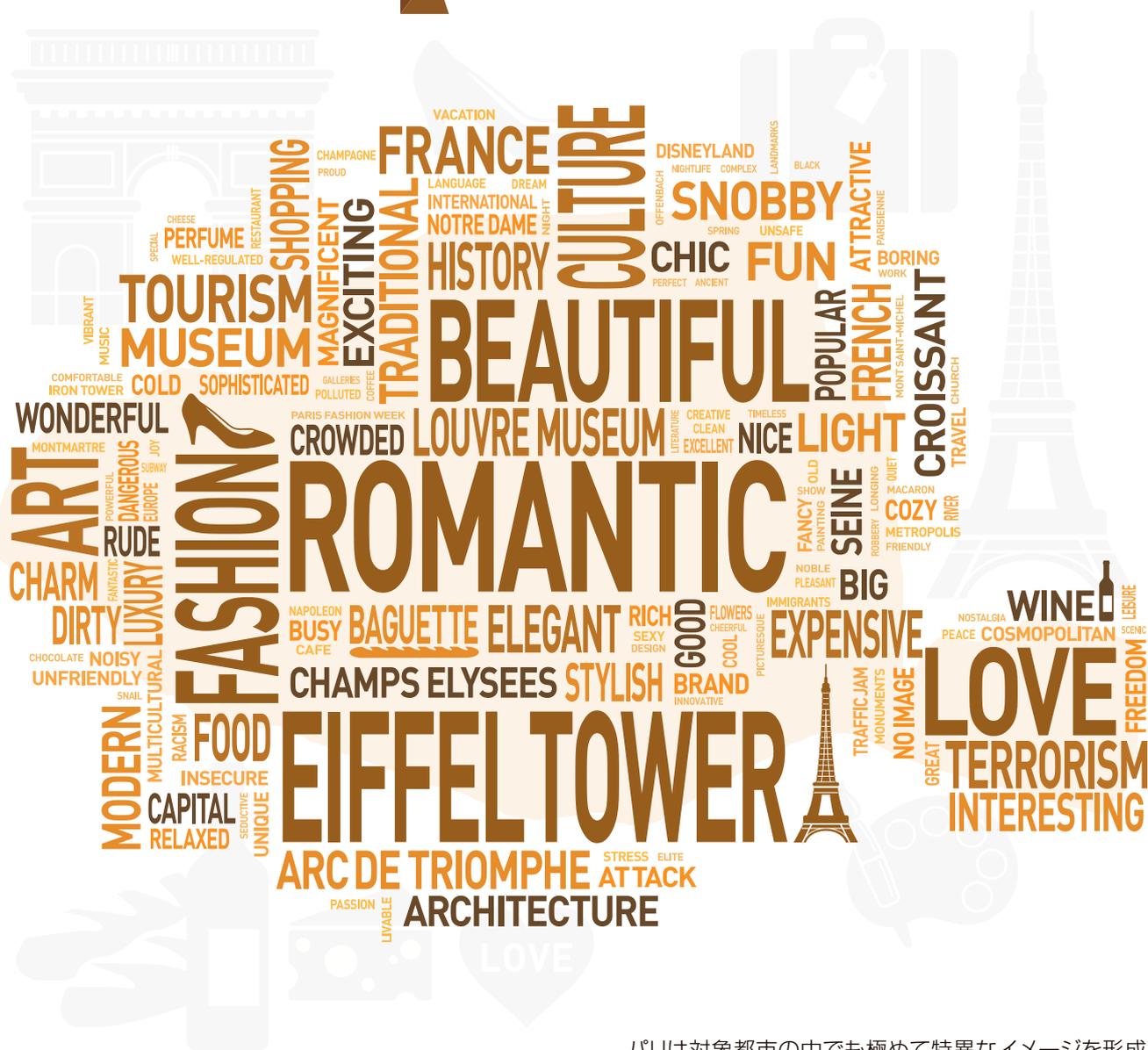


City Perception Ranking 

順位	キーワード	回答数
1	CROWDED	混雑した 254
2	TECHNOLOGY	テクノロジー 206
3	MODERN	現代的な 133
4	JAPAN	日本 127
5	BUSY	忙しい 104
6	EXPENSIVE	高価な 80
6	CULTURE	文化 80
7	CLEAN	清潔 72
8	SUSHI	寿司 59
8	FOOD	食 59
9	ORGANIZED	整理されている 57
10	TRADITIONAL	伝統 51

世界最大規模の都市圏人口を抱える東京は、**CROWDED/混雑した**という印象が連想されている一方で、**ORGANIZED/整理されている**というように効率的かつ秩序だった都市としての印象や、**TECHNOLOGY/テクノロジー**や**MODERN/現代的な**という先進的なイメージも同時に連想されている。ランドマークについては、**SKYTREE/スカイツリー**や**TOKYO TOWER/東京タワー**という単語が挙げられているものの、それらの単語はほとんど日本人の回答者からしか挙げられていない。これらのことから、東京のイメージは、世界的に認知されているランドマークを有していないものの、先進的かつ効率的な大都市であるといえる。

 **PARIS**



City Perception Ranking 

順位	キーワード	回答数
1	EIFFEL TOWER エッフェル塔	311
2	ROMANTIC ロマンティック	288
3	BEAUTIFUL 美しい	222
4	FASHION ファッション	207
5	LOVE 愛	169
6	CULTURE 文化	168
7	ART アート	142
8	FOOD 食	97
9	HISTORY 歴史	84
10	TERRORISM テロリズム	70

パリを対象都市の中でも極めて特異なイメージを形成しており、文化や恋愛に関係する単語との関係性が非常に強いことが分かった。また、ランドマークに関する回答が第一位となった都市はパリのみであることを考えると、EIFFEL TOWER/エッフェル塔がいかに世界的に幅広く認知されているかが分かる。その他にもLOUVRE MUSEUM/ルーヴル美術館やARC DE TRIOMPHE/凱旋門なども訪問経験の有無にかかわらず連想されている。また、ROMANTIC/ロマンティック、BEAUTIFUL/美しい、LOVE/愛などポジティブな単語も多数挙げられた。これらのことを踏まえると、パリのイメージは印象的なランドマークと景観的な美しさ、愛や文化に満ち溢れたロマンチックな都市であるといえる。

2016年10月

編集・発行

一般財団法人 **森記念財団 都市戦略研究所**

大和 則夫、堀 裕典、伊藤 佳菜、ダスタン ピーター、磯ヶ谷 遥子

装丁・印刷：日経印刷株式会社

本ランキングに関するお問い合わせ：

info@mori-m-foundation.or.jp

一般財団法人 森記念財団 都市戦略研究所

www.mori-m-foundation.or.jp

〒105-0001 東京都港区虎ノ門3丁目5番1号 虎ノ門37森ビル

TEL.03-6406-6800

COPYRIGHT©2016 The Mori Memorial Foundation. All Rights Reserved.
このパンフレットを許可なく複製・頒布することを禁じます。

Global Power City Index 2016

- 1 London
- 2 New York
- 3 Tokyo
- 4 Paris
- 5 Singapore
- 6 Seoul
- 7 Hong Kong
- 8 Amsterdam
- 9 Berlin
- 10 Vienna
- 11 Frankfurt
- 12 Shanghai
- 13 Los Angeles
- 14 Sydney
- 15 Stockholm
- 16 Zurich
- 17 Beijing
- 18 Toronto
- 19 Copenhagen
- 20 Barcelona
- 21 Istanbul
- 22 Osaka
- 23 Brussels
- 24 San Francisco
- 25 Chicago
- 26 Madrid
- 27 Boston
- 28 Vancouver
- 29 Washington D.C.
- 30 Geneva
- 31 Milan
- 32 Kuala Lumpur
- 33 Taipei
- 34 Bangkok
- 35 Moscow
- 36 Fukuoka
- 37 Mexico City
- 38 Sao Paulo
- 39 Mumbai
- 40 Jakarta
- 41 Cairo
- 42 Johannesburg